

年間授業計画

五日市 高等学校 令和5年度

教科 国語 科目 現代の国語

教科：教科 国語 科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 第一学習社 高等学校 現代の国語 ）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 これからの社会生活を送る上で必要な国語の知識や技能を理解し、活用している。
- 【思考力、判断力、表現力等】 他者や社会との関わりを通じ自他の考えを伝えあうとともに、それらを広げたり深めたりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 社会生活における言語能力の重要性を深く認識するとともに、それらを磨き、自ら活用している。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話・聞	書	読						
1 学期	筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。	「生きもの」として生きる（中村桂子） 評論のしるべ	○			【知識及び技能】 文体や表現の工夫とその効果について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の趣旨や表現の工夫を読み取り、それを説明しようとしている。	○	○	○	4
	下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を把握し、自分の意見を論述する。	羅生門（芥川龍之介） 文学のしるべ		○		【知識及び技能】 本文中の主な常用漢字や語句・語彙、また文章の組立てや接続の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 老婆の論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 内容の解釈を踏まえて粘り強く下人の行為を評価し、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。	無彩色の色[港千尋]		○		【知識及び技能】 本文中の主な常用漢字や語句・語彙、また文章の組立てや接続の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方をよく工夫し、読み手に十分な理解を与えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を説明しようとしている。	○	○	○	4
	東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。	水の東西（山崎正和） 評論のしるべ		○		【知識及び技能】 本文中の主な常用漢字や語句・語彙、また文章の組立てや接続の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方をよく工夫し、読み手に十分な理解を与えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、分析し、伝えようとしている。	○	○	○	5
話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 相手により伝わりやすい表現方法を理解する。	話し方の工夫 待遇表現		○		【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や敬意などに配慮した表現について理解し使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。	○	○	○	6	
定期考査						○	○		1	





単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
		話・聞	書	読					
E 歌物語 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 和歌に込められた心情を解釈し、現代に通ずる部分や相違点を考えることができる。	伊勢物語「芥川」			○	E 歌物語 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 和歌に込められた心情を解釈し、現代に通ずる部分や相違点を考えようとしている。				6
F 随筆 【知識及び技能】 時間の経過による言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとする。	枕草子「春はあけぼの」			○	F 随筆 【知識及び技能】 時間の経過による言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。				5
定期考査									1
G 日記 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、日記という文章の種類を踏まえて、見方、感じ方、考え方を捉え、内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に理解しようとする。	土佐日記「門出」			○	G 日記 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、日記という文章の種類を踏まえて、見方、感じ方、考え方を捉え、内容を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に理解しようとしている。				5
H 随筆 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取るようとする。	徒然草「ある人、弓射ることを習ふに」			○	H 随筆 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色を捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取るようとしている。				5
I 古典の詩歌 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、自分の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 『伊勢物語』との関係を踏まえながら本文を読み、解釈を深めようとする。	言語活動「古典の和歌を現代の言葉で書き換える」			○	I 古典の詩歌 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、自分の言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 『伊勢物語』との関係を踏まえながら本文を読み、解釈を深めようとしている。				3



	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
3 学 期	0 漢文入門 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の内容や解釈を踏まえ、ものの見方、感じ方、考え方を深める 【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深めようとする	漢文の学習			○	L 漢文入門 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の内容や解釈を踏まえ、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深めようとしている。				1
	P 漢文入門 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深めるとともに、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとする。	訓読に親しむ			○	【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深めるとともに、語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。				5
	Q 故事成語 【知識及び技能】 漢文の訓読になれるとともに、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。	「漁夫の利」 「狐借虎威」			○	【知識及び技能】 漢文の訓読になれるとともに、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめるようとしている。				4
	定期考査									1

合計

70



年間授業計画

五日市 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科：公民 科目：公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～D組

使用教科書：公共（実教出版、公共704）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目：公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。（知識・技能）	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。（思考・判断・表現）	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。（主体的に学習に取り組む態度）

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1章 社会を作る私たち ・自らの体験などを振り返ることを通じて、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。 ・自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解させる。 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。	1. 生涯における青年期の意義 2. 青年期と自己形成の課題 3. 職業生活と社会参加 4. 現代社会と現代の生き方 ・教材クシート、まとめ用として一人1台端末の活用 など	【知識・技能】 指導内容・事項を理解している 【思考・判断・表現】 習得した知識・技能をつかい問題点を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 社会問題を中心に積極的に思考できる	○	○	○	6
第2章 人間としてよく生きる 第3章 他者とともに生きる ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。 ・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。 ・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法をいいたすことに向け、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解させる。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを用いて、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。	1. 古代ギリシアの人間観 2. 科学と人間 3. 自由の実現 4. 社会を作る人間 5. 人間と幸福 6. 公正な社会をめざして ・教材クシート、まとめ用として一人1台端末の活用 など	【知識・技能】 指導内容・事項を理解している 【思考・判断・表現】 習得した知識・技能をつかい問題点を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 社会問題を中心に積極的に思考できる	○	○	○	5
定期考査			○	○		1
第4章 民主社会の倫理 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。 ・個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。	1. 人間の尊厳と平等 2. 自由・権利と責任・義務 ・教材クシート、まとめ用として一人1台端末の活用 など	【知識・技能】 指導内容・事項を理解している 【思考・判断・表現】 習得した知識・技能をつかい問題点を考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 社会問題を中心に積極的に思考できる	○	○	○	11





高等学校 令和5年度（1学年用） 教科：数学 科目：数学I

教科：数学 科目：数学I 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～D組

使用教科書：最新 数学I（数研出版）

教科：数学 の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に考察する能力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。

科目 数学I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形する力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付ける。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	単元 数と式 【知識及び技能】 単項式や多項式、次数、係数、項について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 式の展開は分配法則を用いれば必ずできることを理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 単項式、多項式とその整理の仕方に関心を持ち、考察しようとする。	数と式	【知識・技能】 単項式や多項式、次数、係数、項について理解しているか。 【思考・判断・表現】 式の展開は分配法則を用いれば必ずできることを理解できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 単項式、多項式とその整理の仕方に関心を持ち、考察しようとしているか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	単元 実数 【知識及び技能】 有理数と無理数の違い、および実数について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 実数が数直線上の点として表されることを考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 循環小数を分数で表す方法に興味・関心をもつ。	実数	【知識・技能】 有理数と無理数の違い、および実数について理解しているか。 【思考・判断・表現】 実数が数直線上の点として表されることを考察できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 循環小数を分数で表す方法に興味・関心をもって取り組んでいるか。	○	○	○	8
	単元 1次不等式 【知識及び技能】 不等式の意味を理解し、数量の大小を不等式を用いて表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 不等式の性質を、数直線と対応させて考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 不等式の性質から、1次不等式の解法を考察しようとする。	不等式	【知識・技能】 不等式の意味を理解し、数量の大小を不等式を用いて表すことができているか。 【思考・判断・表現】 不等式の性質を、数直線と対応させて考察できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 不等式の性質から、1次不等式の解法を考察しようとしているか。	○	○	○	10
	単元 集合と命題 【知識及び技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の考えを用いて簡単な命題を論理的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 数の性質や図形の性質を取り上げ、命題として表現できる。	集合と命題	【知識・技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、表すことができているか。 【思考・判断・表現】 集合の考えを用いて簡単な命題を論理的に考察できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 数の性質や図形の性質を取り上げ、命題として表現できているか。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>単元 2次関数</p> <p>【知識及び技能】 xの関数yが与えられたとき、xの値に対するyの値を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 身近な問題を、関数の式で表すことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常生活に見られる具体例から関数を見つけようとする。</p>	2次関数	<p>【知識・技能】 xの関数yが与えられたとき、xの値に対するyの値を求めることができるか。</p> <p>【思考・判断・表現】 身近な問題を、関数の式で表すことができるか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活に見られる具体例から関数を見つけようとしているか。</p>	○	○	○	25	
	定期考査			○	○		1	
2 学 期	<p>単元 図形と計量</p> <p>【知識及び技能】 直角三角形において<math>\sin A</math> <math>\cos A</math> <math>\tan A</math>の値を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 直接測ることのできない距離などの求め方を考えようとし、具体的な事象を三角比の問題として見るることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 三角比の相互関係が鈍角のときも成り立つことを調べようとする。</p>	三角比	<p>【知識・技能】 直角三角形において<math>\sin A</math> <math>\cos A</math> <math>\tan A</math>の値を求めることができるか。</p> <p>【思考・判断・表現】 直接測ることのできない距離などの求め方を考えようとし、具体的な事象を三角比の問題として見るることができるか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 三角比の相互関係が鈍角のときも成り立つことを調べようとしているか。</p>	○	○	○	15	
	定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>D 単元</p> <p>【知識及び技能】 平均値や最頻値、中央値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 データの分布の仕方によっては、代表値として平均値を用いることが必ずしも適切ではないことを理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 データを整理して全体の傾向を考察しようとする。</p>	データの整理	<p>【知識・技能】 平均値や最頻値、中央値の定義や意味を理解し、それらを求めることができるか。</p> <p>【思考・判断・表現】 データの分布の仕方によっては、代表値として平均値を用いることが必ずしも適切ではないことを理解しているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 データを整理して全体の傾向を考察しようとしているか。</p>	○	○	○	20	
	定期考査			○	○		1	
							合計	
								105

五日市 高等学校 令和5年度（1学年用）教科 目：数学 科目：数学A

教科 目：数学 科目：数学A 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 組～ 組

使用教科書：（最新 数学A（数研出版））

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学と人間の活動の関係について認識を深め、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目：数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「知識」に関しては、数学的活動を通して、既習の知識と関連付けながら、図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。また、「技能」に関しては、問題発見・解決の過程を一層自立的に遂行できるようにするために、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 集合の要素の個数 【知識及び技能】 場合の数について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 場合の数について事象を数学的に考察する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 場合の数について、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	・集合 ・集合の要素の個数 ・樹形図、和の法則、積の法則	【知識・技能】 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの教え上げの原則について理解している。 【思考・判断・表現】 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 場合の数に関わる定理・公式のよさを認識し、それらを積極的に活用しようとしている。	○	○	○	6
	B 順列 【知識及び技能】 順列の求め方について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 順列について事象を数学的に考察する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 順列について、数学のよさを認識するとともに、それらを活用する態度を養う。	・順列 ・円順列と重複順列	【知識・技能】 具体的な事象を基に順列の意味を理解し、順列の総数を求める。 【思考・判断・表現】 事象の構造などに着目し、順列の総数を求める方法を多面的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 順列に関する定理・公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	C 組合せ 【知識及び技能】 組合せの求め方について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 組合せについて事象を数学的に考察する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 組合せについて、数学のよさを認識するとともに、それらを活用する態度を養う。	・組合せ	【知識・技能】 具体的な事象を基に組合せの意味を理解し、組合せの総数を求める。 【思考・判断・表現】 事象の構造などに着目し、組合せの総数を求める方法を多面的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 組合せに関する定理・公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	6
D 確率 【知識及び技能】 確率について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 確率について事象を数学的に考察する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 確率について、数学のよさを認識するとともに、それらを活用する態度を養う。	・確率の意味 ・確率の計算	【知識・技能】 確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求められる。 【思考・判断・表現】 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率に関わる定理・公式のよさを認識し、それらを積極的に活用しようとしている。	○	○	○	5	
定期考査			○	○		1	



**五日市 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎**

教科 理科 科目 生物基礎 単位数 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 高校生物基礎（実教出版） ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象に対する理科の見方・考え方を働かせ、基本的な知識と技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことを通して、科学的に探究する能力と態度を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、見通しをもって観察、実験などを行うことを通して、科学的に探究する能力と態度を育てる。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力が育てられている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度が養われている。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養われている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
			知	思	態	
単元（生物の共通性と多様性） 【知識及び技能】・生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解させる。・原核細胞と真核細胞の違いについて、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解させる。・試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】・資料や実験をもとに、生物に共通する性質を見出し表現することができるようにさせる。・細胞におけるDNAのはたらきについて理解し、説明することができるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】・生物の共通性を、実験や観察を通して見出し、理解しようとする。・原核細胞と真核細胞について、細胞に含まれる細胞小器官をもとに、違いを理解しようとする。	・生物の共通性と多様性 ・教科書、プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等	単元（生物の共通性と多様性） 【知識及び技能】・生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 ・原核細胞と真核細胞の違いについて、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 ・試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】・資料や実験をもとに、生物に共通する性質を見出し表現することができる。 ・細胞におけるDNAのはたらきについて理解し、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】・生物の共通性を、実験や観察を通して見出し、理解しようとする。 ・原核細胞と真核細胞について、細胞に含まれる細胞小器官をもとに、違いを理解しようとする。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
単元（生物とエネルギー） ・さまざまな生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見出して理解する。 ・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを理解させる。 ・生物に共通する性質は細胞であることを理解させる。また、細胞にも原核細胞と真核細胞があることを細胞の内部構造とともに理解させる。 ・さまざまな生物の比較に基づいて、生物は多様で	・生物の共通性と多様性 ・教科書、プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 ・生体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。 【思考・判断・表現】・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、ATPと関連づけて考察し、それを表現できる。 ・カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。 ・体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとする。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>単元（遺伝情報とDNA）</p> <p>【知識・技能】・DNAが二重らせん構造であること、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解させる。・ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解してさせる。・体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解させる。・生物の組織からDNAを抽出する技能を習得させる。【思考・判断・表現】・DNAが二重らせん構造であること、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解させる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。・ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。・細胞分裂の際に、DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見出し、理解しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の共通性と多様性</li> <li>・教科書、プリント、問題集</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>単元（遺伝情報とDNA）</p> <p>【知識・技能】・DNAが二重らせん構造であることを理解している。・ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。・体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。・生物の組織からDNAを抽出する技能を習得している。【思考・判断・表現】・DNAが二重らせん構造であること、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。・ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。・細胞分裂の際に、DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見出し、理解しようとする。</p>	○	○	○	8
	<p>単元（遺伝情報とタンパク質の合成）</p> <p>【知識・技能】・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解させる。・遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解させる。</p> <p>【思考・判断・表現】・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できるようにさせる。・mRNAとアミノ酸との対応関係について、遺伝暗号表から読み解くことができるようにさせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の共通性と多様性</li> <li>・教科書、プリント、問題集</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>単元（遺伝情報とタンパク質の合成）</p> <p>【知識・技能】・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。・遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解している。【思考・判断・表現】・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。・mRNAとアミノ酸との対応関係について、遺伝暗号表から読み解くことができる。【主体的に学習に取り組む態度】・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>単元（体内環境）</p> <p>【知識・技能】・体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解させる。【思考・判断・表現】・腎臓の働きについて体系的に理解し、ろ過・再吸収のしくみを説明することができるようにさせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】・肝臓や腎臓の機能を理解し、人体についての理解を深めようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の共通性と多様性</li> <li>・教科書、プリント、問題集</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>単元（体内環境）</p> <p>【知識・技能】・体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解している。【思考・判断・表現】・腎臓の働きについて体系的に理解し、ろ過・再吸収のしくみを説明することができる。【主体的に学習に取り組む態度】・肝臓や腎臓の機能を理解し、人体についての理解を深めようとする。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	<p>単元（体内環境維持のしくみ）</p> <p>【知識・技能】・神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解させる。・からだの調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達がからだの調節に関係していることを見出して理解することができるようにさせる。</p> <p>【思考・判断・表現】・血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できるようにさせる。・観察、実験に基づいて、体内での情報の伝達がからだの調節に関係していることを見出し、理解しようとする。</p> <p>・資料に基づいて、ヒトの血糖濃度が調節されるしくみを見出し、理解しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の共通性と多様性</li> <li>・教科書、プリント、問題集</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>単元（体内環境維持のしくみ）</p> <p>【知識・技能】・神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解している。・からだの調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達がからだの調節に関係していることを見出して理解することができる。【思考・判断・表現】・血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できる。・観察、実験に基づいて、体内での情報の伝達がからだの調節に関係していることを見出し、理解しようとする。・資料に基づいて、ヒトの血糖濃度が調節されるしくみを見出し、理解しようとする。</p>	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
合計							70















年間授業計画

五日市 高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーション I

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーション I 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書： ( COMET English Communication I )

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。

【思考力、判断力、表現力等】学習で扱う話題について興味をもち、簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】テーマについて必要な情報を聞き取る/読み取ることができ、聞いたこと/をふまえて自分の意見を書く/伝えあうことができる。

科目 英語コミュニケーション I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
本文の内容について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。	本単元で扱う話題について興味をもち、簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができる。	本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ、聞いたことをふまえて自分の意見を書く/伝えあうことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 「 や 」	話 「 発 」	書						
<p>【COMET】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけられるようにする。</li> <li>・本文の内容を読み、概要や要点を把握できるようにする。</li> <li>・本文で扱った言語材料を理解し、それを用いて正しい文を書き、その原稿をもとにやりとりをすることができるようにする。</li> <li>・本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ、聞いたことをふまえて自分の意見を書き、その原稿をもとに伝えあうことができる。</li> </ul> <p>【コーパス 1800】</p> <p>英単語を意味を理解し、聞き取れ、正確に発音できるようにする。【NEW 基本の英語】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック体の書き方の復習させる。</li> <li>・名詞の役割と性質について理解できるようにする。</li> <li>・人称と人称代名詞について理解できるようにする。</li> </ul>	<p>【COMET】 Lesson 1</p> <p>【コーパス 1800】 LESSON 1-2</p>	○	○	○	○	○					12	
<p>【COMET】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけられるようにする。</li> <li>・本文の内容を読み、概要や要点を把握できるようにする。</li> <li>・本文で扱った言語材料を理解し、それを用いて正しい文を書き、その原稿をもとにやりとりをすることができるようにする。</li> <li>・本文に関連するテーマについて必要な情報を聞き取ることができ、聞いたことをふまえて自分の意見を書き、その原稿をもとに伝えあうことができる。</li> </ul> <p>【コーパス 1800】</p> <p>英単語を意味を理解し、聞き取れ、正確に発音できるようにする。</p>	<p>【COMET】 Lesson 2</p> <p>【コーパス 1800】 LESSON 3-4</p>	○	○	○	○	○					6	
定期考査			○		○				○	○		1
<p>【COMET】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元で扱う話題に関連する語彙を身につけられるようにする。</li> <li>・本文の内容を読み、概要や要点を把握できるようにする。</li> <li>・本文で扱った言語材料を理解し、それを用いて正しい文を書き、その原稿をもとにやりとりをすることができるようにする。</li> <li>・本文に関連するテーマについて必要な</li> </ul>	<p>【COMET】 Lesson 2</p> <p>【NEW 基本の英語】 Lesson 5-6</p> <p>【コーパス 1800】 LESSON 4-5</p>											

1 学期







年間授業計画

五日市 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科：外国語 科目：論理・表現 I 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～D組

使用教科書：（VISTA Logic and Expression I）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を話す／書くことができる。

【思考力、判断力、表現力等】学習で扱う話題について興味をもち、簡単な語句や文を用いてやりとりをすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】テーマについて必要な情報を聞き取る/読み取ることができ、聞いたこと/をふまえて自分の意見を書く／伝えあうことができる。

科目 論理・表現 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
単元の内容について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を書き／話すことができる	本単元で扱う話題について興味をもち、学んだ表現を用いてやりとりをすることができる。	単元で扱う言語機能を使い生徒同士で発表を行い、聞いたことをふまえて自分の意見を伝えあうことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 「 や 」	話 「 発 」	書					
【VISTA・サブノート】 ・ブロック体の書き方の復習させる。 ・それぞれの品詞について役割と性質を理解できるようにする。 ・それぞれの品詞について役割と性質を理解できるようにする。 ・つなぎ言葉について理解できるようにする。 ・英語の語順について理解できるようにする。	【VISTA】Let's Start 1-4						【知識・技能】 単元の内容について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を書き／話すことができる。  【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち、学んだ表現を用いてやりとりをすることができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 単元で扱う言語機能を使い生徒同士で発表を行い、聞いたことをふまえて自分の意見を伝えあうことができる。				8
【VISTA・サブノート】 ・現在形を理解できるようにする。 ・共感を示す表現を会話の中で使用できるようにする。	【VISTA】 LESSON 1 【サブノート】 LESSON 1						【知識・技能】 単元の内容について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を書き／話すことができる。  【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち、学んだ表現を用いてやりとりをすることができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 単元で扱う言語機能を使い生徒同士で発表を行い、聞いたことをふまえて自分の意見を伝えあうことができる。				6
定期考査											1
1 学 期	【VISTA・サブノート】 ・本単元で使用する新出の単語/フレーズを理解できるようにする。 ・ペアワークを通して本単元で学ぶ言語機能（発表の始めと終わり方）を理解できるようにする。 ・リスニングを通して本単元で学ぶ言語機能（発表の始めと終わり方）を理解できるようにする。 ・発表のための原稿を作成できるように	【VISTA】 LESSON 2 【サブノート】 LESSON 2					【知識・技能】 単元の内容について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を書き／話すことができる。  【思考・判断・表現】 本単元で扱う話題について興味をもち、学んだ表現を用いてやりとりをすることができる。				

	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元で学ぶ言語機能（発表の始めと終わり方）を意識して発表できるようにする。</li> </ul>							<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>単元で扱う言語機能を使い生徒同士で発表を行い、聞いたことをふまえて自分の意見を伝えあうことができる。</p>					4	
	<p>【VISTA・サブノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元で使用する新出の単語/フレーズを理解できるようにする。</li> <li>・ペアワークを通して本単元で学ぶ言語機能（許可を求める）を理解できるようにする。</li> <li>・リスニングを通して本単元で学ぶ言語機能（発表の始めと終わり方）を理解できるようにする。</li> <li>・発表のための原稿を作成できるようにする。</li> <li>・本単元で学ぶ言語機能（許可を求める）を意識して発表できるようにする。</li> </ul>	<p>【VISTA】 LESSON 3</p> <p>【サブノート】 LESSON 3</p>						<p>【知識・技能】</p> <p>単元の内容について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を書き／話すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>本単元で扱う話題について興味をもち、学んだ表現を用いてやりとりをすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>単元で扱う言語機能を使い生徒同士で発表を行い、聞いたことをふまえて自分の意見を伝えあうことができる。</p>					4	
	定期考査													1
2 学 期	<p>【VISTA・サブノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元で使用する新出の単語/フレーズを理解できるようにする。</li> <li>・ペアワークを通して本単元で学ぶ言語機能（誘う/提案する・聴衆を引きつける）を理解できるようにする。</li> <li>・リスニングを通して本単元で学ぶ言語機能（発表の始めと終わり方）を理解できるようにする。</li> <li>・発表のための原稿を作成できるようにする。</li> <li>・本単元で学ぶ言語機能（誘う/提案する・聴衆を引きつける）を意識して発表できるようにする。</li> </ul>	<p>【VISTA】 LESSON 4-5</p> <p>【サブノート】 LESSON 4-5</p>						<p>【知識・技能】</p> <p>単元の内容について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を書き／話すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>本単元で扱う話題について興味をもち、学んだ表現を用いてやりとりをすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>単元で扱う言語機能を使い生徒同士で発表を行い、聞いたことをふまえて自分の意見を伝えあうことができる。</p>					14	
	<p>【VISTA・サブノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元で使用する新出の単語/フレーズを理解できるようにする。</li> <li>・ペアワークを通して本単元で学ぶ言語機能（メールのあいさつ・驚く）を理解できるようにする。</li> <li>・リスニングを通して本単元で学ぶ言語機能（発表の始めと終わり方）を理解できるようにする。</li> <li>・発表のための原稿を作成できるようにする。</li> <li>・本単元で学ぶ言語機能（メールのあいさつ・驚く）を意識して発表できるようにする。</li> </ul>	<p>【VISTA】 LESSON 6-7</p> <p>【サブノート】 LESSON 6-7</p>						<p>【知識・技能】</p> <p>単元の内容について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を書き／話すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>本単元で扱う話題について興味をもち、学んだ表現を用いてやりとりをすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>単元で扱う言語機能を使い生徒同士で発表を行い、聞いたことをふまえて自分の意見を伝えあうことができる。</p>					12	
	<p>【VISTA・サブノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元で使用する新出の単語/フレーズを理解できるようにする。</li> </ul>	<p>【VISTA】 LESSON 8</p> <p>【サブノート】 LESSON 8</p>						<p>【知識・技能】</p> <p>単元の内容について、学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて、自分の意見を</p>						



年間授業計画

五日市 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（ 情報 I 図解と実習 実習編、図解編 （日本文教出版） ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元「情報社会とわたしたち、問題解決実習」 【知識及び技能】 ・問題を発見・解決する方法や情報モラルについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題を発見・解決する方法や情報モラルについて考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・問題の発見・解決に向けて望ましい情報社会の構築に寄与しようとしている。	・情報社会を見渡してみよう	【知識・技能】 ・問題を発見・解決する方法について考えている。 【思考・判断・表現】 ・問題を発見・解決する方法や情報モラルについて考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。 ・情報社会の問題解決を通じて、望ましい情報社会の構築に寄与しようとしている。	○	○	○	11
	B 単元「コミュニケーションと情報デザイン」 【知識及び技能】 ・コミュニケーション手段の特徴について科学的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーション手段の特徴について科学的に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・効果的なコミュニケーションを行うおとする態度を養う。	・メディアとコミュニケーション ・情報デザイン ・情報のデジタル化	【知識・技能】 ・情報デザインの考え方や方法を理解するとともに、表現する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報と情報技術を活用し、試行錯誤して効果的なコミュニケーションを行うおとする。	○	○	○	11
	授業内考査		・1学期で実施した知識理解に関する内容を確	○			1
2 学 期	B 単元「コミュニケーションと情報デザイン」 続き						8
	C 単元「コンピュータとプログラミング」 【知識及び技能】 ・アルゴリズムを表現する手段について理解し技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生活の中で使われているプログラムを見い出して改善することなどを通じて情報社会に主体的に参画しようとする。	・コンピュータのしくみ ・アルゴリズムとプログラミング ・モデル化とシミュレーション	【知識・技能】 ・アルゴリズムをフローチャートで表現する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な問題を解決するプログラムを基に試行錯誤しながら粘り強く評価し改善しようとするなどを通して情報社会に主体的に参画しようとしている。	○	○	○	22
	授業内考査		・2学期で実施した知識理解に関する内容を確	○			1
	C 単元「コンピュータとプログラミング」 続き						2
	D 単元「情報通信ネットワークとデータの活用」 【知識及び技能】 ・データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・データの収集、整理、分析する	・情報通信ネットワークのしくみ ・情報システムとデータベース ・データの活用	【知識・技能】 ・データを収集、整理、分析する一連のデータ処理の流れ及び、その評価について理解している。 【思考・判断・表現】 ・必要なデータ収集について、選択、判断し、それに応じて適切なデータの整理や変換の				

3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・適切なデータの選択や、分析の仕方、解釈の仕方について、粘り強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方法を判断することかじまる。</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・適切なデータの選択や、分析の仕方、解釈の仕方について、粘り強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	13	
	授業内考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期で実施した知識理解に関する内容を確認するテストを実施し、理解度を図る。</li> </ul>	○			1	
						合計	70

年間授業計画

五日市 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間

科目： 総合的な探究の時間

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ D 組

使用教科書：（「人間と社会」（改訂版教科書））

教科 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】地域の自然、産業、歴史などについて、また、進路について調査方法を知り、知識を深める。また、発表する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地域の課題を考え、課題解決の方策をまとめて発表する。また、自身の進路についても考えを深める。

【学びに向かう力、人間性等】地域の課題解決や自身の進路にむけて主体的に取り組む姿勢を身に付ける。

科目 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域の自然、産業、歴史などについて、また、進路について調査方法を知り、知識を深める。また、発表する技能を身に付ける。	地域の課題を考え、課題解決の方策をまとめて発表する。また、自身の進路についても考えを深める。	地域の課題解決や自身の進路にむけて主体的に取り組む姿勢を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元（地域探究） 【知識及び技能】 ・リエンションを通して、探究の進め方を理解させる。 ・フィールドワークを通して、地域について理解させる。 ・パソコンの操作技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・フィールドワークを通して地域に対する理解を深め、課題について考えさせる。 ・フィールドワークの経験を発表させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・フィールドワークに対して主体的に取り組む、地域の課題を考える態度を身に付けさせる。	・地域探究 ・フィールドワーク ・surface使用	単元（地域探究） 【知識及び技能】 ・リエンションを通して、探究の進め方を理解している。 ・フィールドワークを通して、地域について理解している。 ・パソコンの操作技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・フィールドワークを通して地域に対する理解を深め、課題について考えることができる。 ・フィールドワークの経験を発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・フィールドワークに対して主体的に取り組む、地域の課題を考える態度を身に付けている。	○	○	○	20
	単元（自己探究） 【知識及び技能】 ・リエンションを通して、自己探究の進め方を理解させる。 ・進路行事を通して、自己や進路について理解させる。 ・学び直しを実施する。 ・パソコンの操作技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・進路行事を通して進路に対する理解を深め、自身の進路について考えさせる。 ・進路行事や自己探究の経験をまとめ、振り返らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進路行事や自分自身に対して主体的に取り組む、自身の進路等考える態度を身に付けさせる。	・自己探究 ・学び直し（Classi使用） ・surface使用	単元（自己探究） 【知識及び技能】 ・リエンションを通して、自己探究の進め方を理解している。 ・進路行事を通して、自己や進路について理解している。 ・パソコンの操作技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・進路行事を通して進路に対する理解を深め、自身の進路について考えている。 ・進路行事や自己探究の経験をまとめ、振り返りができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進路行事や自分自身に対して主体的に取り組む、自身の進路を考える態度を身に付けている。	○	○	○	6
2 学 期	単元（地域探究） 【知識及び技能】 ・フィールドワークを通して、地域について理解させる。 ・パソコンの操作技能を身に付けさせる。 ・発表するための技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・フィールドワークを通して地域に対する理解を深め、課題について考えさせる。 ・フィールドワークの経験を発表させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・フィールドワークに対して主体的に取り組む、地域の課題を考える態度を身に付けさせる。 ・他の班やクラスの発表に耳を傾け、互いに知識や思考を深め合う態度を身に付けさせる。	・地域探究 ・フィールドワーク ・surface使用	単元（地域探究） 【知識及び技能】 ・フィールドワークを通して、地域について理解している。 ・パソコンの操作技能を身に付けている。 ・発表するための技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・フィールドワークを通して地域に対する理解を深め、課題について考えることができる。 ・フィールドワークの経験を発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・フィールドワークに対して主体的に取り組む、地域の課題を考える態度を身に付けている。 ・他の班やクラスの発表に耳を傾け、互いに知識や思考を深め合う態度を身に付けている。	○	○	○	22
	単元（自己探究） 【知識及び技能】 ・自分自身の興味や関心に基づいた調べ学習を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己探究で調べたことをPowerPointなどにまとめることができ、発表させる。 【学びに向かう力、人間性等】	・自己探究 ・surface使用	単元（進路探究） 【知識及び技能】 ・テーマに関連した自己探究の調べ学習ができており、指定したスライドのまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己探究で調べたことを指定したスライドに見やすくまとめることができ、全体にむけてわかりやすく発表することができる。	○	○	○	6

	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己探究に対して見通しを持って取り組み、他の発表を聞いてさらにより良くしていこうとする態度を身につけさせる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>提出期日までにファイルを作成することができ、発表をする態度や聞く態度も良好である。</li> </ul>	○	○	○	○
3 学 期	<p>単元（地域探究）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成果発表会に向けたスライドを作成することができる。</li> <li>2学年の探究の授業のテーマに沿った、調べ学習をすることができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成果発表会において、1年間の学習成果を踏まえた発表をすることができる。</li> <li>2年生の学習を踏まえた調べ学習を、指定したスライドにまとめる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成果発表会に向けて主体的に取り組み、発表する態度を身に付けさせる。</li> <li>他の班やクラスや学年の発表に耳を傾け、互いに知識や思考を深め合う態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域探究</li> <li>surface使用</li> </ul>	<p>単元（地域探究）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成果発表会に沿ったスライドの構成でファイルを作成することができ、指定した形で発表準備ができています。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発表内容として、1年間の取組を踏まえた発表となっており、地域の課題解決に向けて自己の興味や関心がどう生かせるかがわかるようなスライドとなっている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成果発表会に向けて主体的に取り組み、発表する態度を身に付けている。また粘り強く取り組みながら、より良い発表にしていこうという態度を身に付けている。</li> <li>他の班やクラスの発表に耳を傾け、互いに知識や思考を深め合う態度を身に付けている。</li> </ul>	○	○	○	10
	<p>単元（自己探究）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来の進路先について知識を増やす。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自身の希望進路に合わせて効果的なチャレンジプログラムを判断し実践する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自身の進路を考える態度を身に付けるために、専門学校チャレンジプログラムに主体的に取り組みさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己探究</li> <li>surface使用</li> <li>専門学校チャレンジプログラム</li> </ul>	<p>単元（進路探究）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来の進路先について知識を増やすことができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自身の希望進路に合わせてチャレンジプログラムから効果的なプログラムを判断し選択することができる。</li> <li>進路行事の経験をまとめ、発表できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門学校チャレンジプログラムに主体的に取り組み、自身の進路を考える態度を身に付けている。</li> </ul>	○	○	○	6
							合計
							70